



平成30年1月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年12月14日

上場会社名 株式会社 ジャストプランニング
 コード番号 4287 URL <http://www.justweb.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 崇宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐久間 宏

TEL 03-3730-1041

四半期報告書提出予定日 平成29年12月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年1月期第3四半期の連結業績(平成29年2月1日～平成29年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年1月期第3四半期	1,789	0.4	307	6.9	305	5.3	203	2.6
29年1月期第3四半期	1,782	9.9	329	12.7	322	15.6	209	21.3

(注) 包括利益 30年1月期第3四半期 211百万円 (0.5%) 29年1月期第3四半期 212百万円 (17.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年1月期第3四半期	48.32	48.07
29年1月期第3四半期	49.61	49.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年1月期第3四半期	3,334	3,085	90.6	715.86
29年1月期	3,287	2,949	87.9	685.39

(参考) 自己資本 30年1月期第3四半期 3,020百万円 29年1月期 2,890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年1月期		0.00		18.00	18.00
30年1月期		0.00			
30年1月期(予想)				22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年1月期の連結業績予想(平成29年2月1日～平成30年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	6.1	500	22.0	500	24.0	300	13.6	71.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年1月期3Q	4,219,346 株	29年1月期	6,157,800 株
期末自己株式数	30年1月期3Q	株	29年1月期	1,939,954 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年1月期3Q	4,219,196 株	29年1月期3Q	4,217,734 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
（追加情報）	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	9
（重要な後発事象）	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続く中、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、世界経済の不確実性は高く、米国新政権の政策動向やEU諸国の今後の政治動向、金融資本市場の変動等の影響により、その先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループでは、ASPによるアウトソーシング事業とインターネットを活用したシステムソリューション事業に取り組み、外食産業のみならず、新業態への売上管理・勤怠管理・発注管理等のASPシステムの展開をしております。

また、平成24年よりASP事業「まかせてネット」をシリーズ化し、「まかせてネット」の進化版「まかせてネットEX」及び、クラウド型POSオーダーリングサービス「まかせてタッチ」の拡販・運営を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、売上高1,789,440千円（前年同四半期比0.4%増）、営業利益307,045千円（同6.9%減）となりました。経常利益305,290千円（同5.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益203,857千円（同2.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(ASP事業)

当社グループにおけるASP事業は平成11年8月より外食業界向けに「まかせてネット」というサービス名で、サービスを展開しております。外食店舗におけるPOSシステム、勤怠管理システム、発注システム等の情報を、当社ASPセンターで受信し、各企業データシステムへと展開して、売上管理・勤怠管理・発注管理等の本部システムを稼働させ、外食本部からは、インターネット経由で当社ASPセンターにアクセスすることにより本部システムを利用することができるようになっております。当第3四半期連結累計期間は、ASP事業「まかせてネット」の進化版「まかせてネットEX」及び、クラウド型POSオーダーリングサービス「まかせてタッチ」の拡販・運営を行っております。

当第3四半期連結累計期間のASP事業の売上は701,829千円（前年同四半期比2.7%減）、セグメント利益は520,047千円（同1.5%減）となりました。

(システムソリューション事業)

当社グループでは、平成6年3月の設立以来、外食業界向けの店舗システム及び本部システム(POSシステム、出退勤システム、食材発注システム)等の業務システム構築全般にソフトウェアの企画・開発・販売を行ってまいりました。システムソリューション事業の業務内容は、外食業界の業務システムにおけるソフトウェア受託開発、POSシステム導入におけるシステム設定作業やシステム運用・業務コンサルティングやそれに伴うハードウェア導入、当社POSシステムユーザーに対する消耗品販売等を行っているPOSシステムソリューションから構成されております。

当第3四半期連結累計期間のシステムソリューション事業の売上は84,769千円（同1.5%減）、セグメント利益は14,795千円（同33.7%減）となりました。

(物流ソリューション事業)

当社グループでは、外食チェーン企業等に対する物流ソリューション（3PL：サードパーティロジスティクス=企業の流通機能全般を一括して請け負う）やマーチャндаイズソリューション（コンサルティング、コーディネート）、本部業務代行（伝票処理、受発注代行、商品管理）等のソリューションサービス事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間の物流ソリューション事業の売上は877,520千円（同2.2%増）、セグメント利益は96,079千円（同8.6%減）となりました。

(太陽光発電事業)

当社グループでは、平成27年2月より栃木県那須塩原市、栃木県那須町にて2拠点、平成28年2月より宮城県仙台市にて1拠点において、太陽光発電設備による電力会社への売電事業を行っております。

当第3四半期連結累計期間の太陽光発電事業の売上は88,455千円（同2.4%増）、セグメント利益は16,722千円（同96.0%増）となりました。

(その他事業)

当社グループでは、平成21年8月より、外食等店舗運営を社員により行っております。社員による運営により、店舗運営ノウハウの社員研修、情報システム開発、新システムのテストマーケティング等に活用しております。

当第3四半期連結累計期間のその他事業の売上は85,491千円(同3.8%増)、セグメント利益は69,905千円(同4.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて47,387千円増加し、3,334,395千円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加186,382千円、機械装置の減少56,174千円、投資有価証券の減少3,927千円などによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて89,031千円減少し、248,649千円となりました。主な増減は、未払法人税等の減少8,000千円、未払消費税等の増加8,264千円などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて136,419千円増加し、3,085,746千円となりました。主な増減は、自己株式の消却により利益剰余金及び自己株式がそれぞれ1,463,630千円減少、その他有価証券評価差額金の増加745千円、非支配株主持分の増加6,988千円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年3月13日に発表いたしました「平成29年1月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載しております予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用されます。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,060,433	2,246,815
売掛金	269,219	242,395
たな卸資産	862	998
その他	85,357	42,957
貸倒引当金	△7,527	△9,127
流動資産合計	2,408,346	2,524,040
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	65,691	73,824
機械及び装置(純額)	661,433	605,258
その他(純額)	34,596	27,135
有形固定資産合計	761,721	706,219
無形固定資産		
投資その他の資産	32,553	20,885
投資その他の資産		
投資有価証券	19,408	15,480
その他	136,026	137,417
貸倒引当金	△71,047	△69,647
投資その他の資産合計	84,386	83,250
固定資産合計	878,661	810,355
資産合計	3,287,008	3,334,395

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	232,253	145,655
未払法人税等	41,666	33,665
賞与引当金	2,024	8,140
その他	55,185	54,520
流動負債合計	331,128	241,981
固定負債		
資産除去債務	6,552	6,667
固定負債合計	6,552	6,667
負債合計	337,680	248,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	402,022	402,482
資本剰余金	259,755	260,215
利益剰余金	3,694,024	2,358,330
自己株式	△1,463,630	-
株主資本合計	2,892,171	3,021,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,294	△548
その他の包括利益累計額合計	△1,294	△548
新株予約権	7,621	7,449
非支配株主持分	50,828	57,816
純資産合計	2,949,327	3,085,746
負債純資産合計	3,287,008	3,334,395

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)
売上高	1,782,792	1,789,440
売上原価	1,052,144	1,071,889
売上総利益	730,647	717,550
販売費及び一般管理費	400,936	410,505
営業利益	329,710	307,045
営業外収益		
受取家賃	360	360
受取利息	164	47
受取配当金	480	318
未払配当金除斥益	—	1,936
雑収入	943	929
営業外収益合計	1,948	3,591
営業外費用		
支払利息	53	104
雑損失	22	0
投資有価証券評価損	9,094	4,999
為替差損	—	240
営業外費用合計	9,169	5,345
経常利益	322,489	305,290
特別利益		
投資有価証券売却益	1,353	—
固定資産売却益	—	497
特別利益合計	1,353	497
税金等調整前四半期純利益	323,842	305,788
法人税、住民税及び事業税	109,153	97,975
法人税等調整額	△1,776	△3,033
法人税等合計	107,377	94,941
四半期純利益	216,465	210,846
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,210	6,988
親会社株主に帰属する四半期純利益	209,254	203,857

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)
四半期純利益	216,465	210,846
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,801	745
その他の包括利益合計	△3,801	745
四半期包括利益	212,663	211,592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	205,452	204,603
非支配株主に係る四半期包括利益	7,210	6,988

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年2月1日至平成28年10月31日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年4月26日 定時株主総会	普通株式	75,912	18	平成28年1月31日	平成28年4月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年2月1日至平成29年10月31日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年4月25日 定時株主総会	普通株式	75,921	18	平成29年1月31日	平成29年4月26日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、平成29年8月18日開催の取締役会決議に基づき、平成29年9月1日付で、自己株式1,939,954株の消却を実施しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が1,463,630千円、自己株式が1,463,630千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年2月1日至平成28年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	ASP事業	システム ソリューション 事業	物流 ソリューション 事業	太陽光 発電事業	その他 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	687,029	86,028	840,971	86,419	82,343	1,782,792	—	1,782,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34,024	—	17,398	—	—	51,423	△51,423	—
計	721,054	86,028	858,369	86,419	82,343	1,834,215	△51,423	1,782,792
セグメント利益	527,734	22,318	105,067	8,532	66,995	730,647	△400,936	329,710

(注) 1 セグメント利益の調整額△400,936千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年2月1日至平成29年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	ASP事業	システム ソリューション 事業	物流 ソリューション 事業	太陽光 発電事業	その他 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	670,570	84,769	860,153	88,455	85,491	1,789,440	—	1,789,440
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31,258	—	17,367	—	—	48,625	△48,625	—
計	701,829	84,769	877,520	88,455	85,491	1,838,066	△48,625	1,789,440
セグメント利益	520,047	14,795	96,079	16,722	69,905	717,550	△410,505	307,045

(注) 1 セグメント利益の調整額△410,505千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。